

網走家畜衛生情報

令和7年度（2025年度）

第9号（8月号外）

北海道網走家畜保健衛生所

サルモネラ症に注意！

牛のサルモネラ症は、農場内の菌が増殖しやすい夏から秋にかけて発生数が増加します。今年は例年より暑い日が多いため、暑さで免疫力が低下した牛を中心に、発生リスクが高くなっています。ひとたび発生すると下痢や乳量の減少等による損害に加え、治療や消毒に係る対策経費が非常に大きくなりますので、日頃の飼養衛生管理を徹底し、発生予防に努めましょう。

★ 特に注意が必要な牛（免疫力が低下気味の牛）

乳用牛：暑い時期に乾乳～分娩を迎えた牛や泌乳量が多い牛

肉用牛：生まれて間もない子牛や導入した素牛

預託施設：預託直後の牛（導入時検査で検出される事例が散見）

対策のポイント（地域一丸となって取り組むとより効果的）

★ 農場・牛舎への侵入防止

- ・農場出入り口で車両を消毒！
- ・牛舎ごとに長靴交換または踏込消毒槽を設置！
- ・導入牛は一定期間隔離し健康観察！
- ・野生動物の侵入防止（防鳥ネット等）！



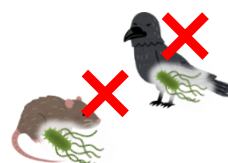
★ 農場内での感染拡大防止

- ・汚れた長靴で飼槽側を歩かない！
- ・餌槽・水槽・ミキサー等の洗浄、消毒を徹底！
- ・十分な初乳の給与で子牛の免疫を強化！



★ 異状牛の早期発見、隔離、治療

- ・発熱、下痢、血便等がみられたらすぐに隔離！
- ・速やかに獣医師に連絡し、診療を依頼！



★ ルーメン環境を整えて免疫力をアップ！

- ・良質な粗飼料の給与、整腸剤・カビ吸着剤等の積極的な利用